

キャリア教育

キャリア教育推進部

キャリア(経験)を活かして、現在や将来を見据えることなどを主眼として行われる教育

文部科学省から示された内容構造(経済産業省のものはここでは省略)

人間関係生成能力	= 自他の理解能力とコミュニケーション能力
情報活用能力	= 情報収集・探索能力と職業理解能力
将来設計能力	= 役割把握・認識能力と計画実行能力
意志決定能力の涵養	= 選択能力と課題解決能力

「キャリア教育」出現の背景1

キャリア教育の文言としては、日本において近年話題に上っている「フリーター」や「ニート」と定義される若年層の雇用問題に対する政府全体の対策として、文部科学省、厚生労働省、経済産業省および内閣府の関係府省で連携強化を図り、2003年(平成15年)文部科学大臣ほか関係4大臣によって取りまとめられた「若者自立・挑戦プラン」に基づき...

「キャリア教育」出現の背景2

学校教育におけるキャリア教育は従来指導されてきた「進路指導」とほぼ同義である。しかし「進路指導」が上級学校への移行(出口指導)に偏重している現状から、意味を刷新するために「キャリア教育」という語が使用されるようになった。

相愛高等学校・中学校 「未来の幸福の創出」をテーマに

相愛高等学校・中学校「敬愛する心と品格を育む、それが相愛の伝統です」の一の挑み

= 自己の発見、自己実現を志す

他を理解し認める心・支え合う気持ちを創り上げる

進路＝「幸せ」の選択

進路を支える3本の柱

- ・キャリアデザイン
- ・社会的基礎力を培う
- ・社会性を身につける

相愛のキャリア教育

方法は多彩

従来企画の継承

関係大学に赴く大学研究	高校2年生	
関係学校進学説明会	高校3年生ならびに参加希望者	
キャリアガイダンス	中学3年生～高校3年生	HR実施
関係学校進学説明会	高校3年生ならびに参加希望者	
卒業生による懇談会	高校1年生	HR実施
龍谷アドバンスプロジェクト		参加希望者など

新企画の利点

従来、学問や高等学校中学校での教学の域に収まりきらなかったクロススタディーを積極導入

相愛大学教員によるレクチャーなど企画・実施へ
学域のみならずサブカルチャーや生徒の主体的な講座も実施可能に
他の分掌との積極的なサポート体制の拡充
ロジカルな考え方に加えクリティカルな思考も涵養
一部に**インセンティブ制度の導入**

25年度実施例から

- ・京都大学見学 → 高2・高3希望者 校外学習
- ・龍谷大学瀬田キャンパス見学（農学部設置予定） → 高1一泊研修
- ・OSK歌劇団団員によるダンス授業 → 中学体育授業
- ・「動機付け」としてのPPT
→ 「Notebook」ノートの工夫とノートの目的 etc
「Hawaii」あまり知られてはいないハワイの歴史と名所 → 海外研修

蛇足ですが、相愛高等学校中学校のキャリア教育は…

これにより学校が学生生徒の就職を目指すというものではありません。

「キャリア教育」を標榜する雑誌を見ても、大学受験にフォーカスしがちであるもの、就職に重きを置くもの、学び方の how to にこだわるもの等が見られ、掘み所がないという方も多いことでしょう。しかし、これが意味するところは、「幸福」の作り方に手順がないということであろうと理解しておきます。いずれもまちがいではありません。しかし、どれが正しいとも言い切れません。「学校は■■■するところだ」と定義づけるとしたら「■■■」に、どんな言葉を入れますか。「勉強」と入れた人は、しっかり勉強して下さい。得意であっても不得意であっても、その言葉を入れる人は、潜在意識の中に「勉強」があるのですから。「■■■」に、「将来幸せになるために努力」と入れたいと考えています。「どんな努力」であるかは、ここでは披露いたしません、それぞれに「努力」のやり方があっても良いのです。

ある人が、「男性の読む娯楽雑誌は少ないけれど、女性の読む娯楽雑誌はどのくらいあるのだろうか？」と聞いてきました。質問の意図がわからず「どうして？」と尋ねると、「おそらくそれくらい志向性が多様であり、『幸せ』のための価値基準も豊かであると思うから」と付け加えてくれました。言い得て妙な感じがしました。女性の幸福をサポートするための学校として使命感を強く持とうと考えれば、「女子校」における「キャリア教育」はここにキーがあろうと思っています。学校は、社会に出る前に行っておかなくてはならないところですが、ここで何を学ばねばならないかを「社会」と結びつけて考えてみる方法を「キャリア教育」で提案してみたいと考えました。

蛇足ついでに課題を一つ出してみましよう。ご家族と共に仕上げてみて下さい。あらかじめ申しますが、これには答えがありません。答えは、一人一人違って良いと思います。

課題：「シェフあるいは料理人のつくった料理を誰かと一緒に楽しんで食べて下さい。さて、あなたは何を考えますか？」

さてどうでしょう。何を、何時、誰となどと考えますよね。「栄養」を考えますか？ 外食に出かけるとき「栄養」を考える人より「美味しさ」を先に考える人が圧倒的に多いものです。また、店のたたずまいに気持ちを向ける人、共に食事をする家族や友人に気持ちを向ける人、食材を意識する人、食文化に思いをはせたり、その料理の生まれた国や言葉を連想する人もいることでしょう。さまざまに考えを巡らせることでしょう。

考えたことは、どんな学問に属することでしたか？ 質問を具体的に改めてみましょう。答えることができますか？ 栄養学、家政学、建築学、歴史学、文化論、経営学、経済学、比較文化論、国際関係学、言語学、化学、社会学…さて、いかがでしょう。

こんなことを考えたら美味しくないと思う人もいるでしょうが、このように日常は学問であふれています。また、学問になっているのかいないのかはっきりしないような知見もあることでしょう。たとえば、なぜ「美味しい」のかだけに限って、学べる大学は案外少ないものです。生理学、解剖学、栄養学、社会学ひいては脳科学にわたる学問領域を模索する人が出てほしいと思うのですが…。

キャリア教育の答えは、誰が決めるものでもありません。答えがないことに挑む力をつけるものでもあります。キャリア教育を受けて身につける効果についても、人それぞれ

れ異なってくる可能性があることを知っておいてもらいたいと思います。ある人は競争力であると言うでしょうし、ある人は協調性であると言うこともあるでしょう。また、自己肯定力であると言う人がいるかも知れません。何かを意図して強引にその答えの袍に導くという危うさとは切り離して、問題の発見と解決に力を見いだせたと喜ぶ人が出てくることもあります。逆に、クイズ王になるような力を身につけたとか、自分は社会には馴染めそうにないという人は出てこないと想像しています。なぜなら「キャリア教育」の目論見からはずれぬものであるからです。

そもそも学校というものは、社会に出たときに恥ずかしくないようにするためにあるものだと言ってみたり、社会のために役にたつ力をつけるところだと言ってみたりしたものです。これらの言葉はやや時代がかった言葉であります。設立以来ずっとこの負託に応えようとした相愛学園は、さまざまな試みを教育活動に取り組みました。行事ごとの多彩さはこれがためでもあり、いち早く音楽教育を導入した女学校としての矜持は今に受け継がれています。まだ、キャリア教育という言葉がなかった時代に、社会的要請が生じる前から取り組んできた歴史があります。あるときは「しつけ」と説明されたり「全人教育」と謳うなどしました。時に時代錯誤であるとか、遅れていると揶揄されるなどの苦汁をなめることもありました。本旨は「當相敬愛」にこめられたみ教えを旨としています。相愛の卒業生は、このようなことを言って「相愛の教育観」を語ってくれるとおります。これを今までの通り続けようといっていると理解して下さる方は、半ば理解して下さっている方ですが、完全ではありません。今までの通り受け継ぐものは、教学の理念です。キャリア教育と銘打ち、装いも新たにすることは、全く今までは異なって見えるだろうということです。「キャリア教育」を受けたことのない方には、想像もつかないと思われることもありますが、龍谷アドバンスプロジェクト受講者や大学入学前事前学習（リメディアル）の形をとって受講した者には、顕著な効果が現れていることを思うと従前型よりも効果があることは確かであろうと思います。

積極的な活用を期待し、またさまざまに自らを作り上げていくための糧としてほしいと思います。

蛇足が徒に冗長になりましたが、アウトラインで在校生とそのご家族に理解していただくために記したものです。キャリア教育プログラムの一つ一つには、急所・ポイントが含まれておりますが、ここに明らかにするだけの紙幅がないこと、また受講する人たちに斟酌してほしいために工夫がなされていること、さらには学校とはいえども相愛という企業体の独自戦略の要所に触れる点であることから敢えて触れてはおりません。ご寛恕下さい。

（文責 キャリア教育推進部長 若生哲）